

令和元年度 学校評価委員会(第2回学校評議員会)報告

1 日 時 令和2年3月5日(木)

2 場 所 多目的ホール

3 参加者

教職員・・・・・・ 4名(校長、教頭、教務、研修主任)

学校評議員・・・・ 3名

学校関係者・・・・ 9名

4 教育活動の報告及び学校評価アンケートの説明

(PTA役員会での協議内容)

(1) 地域で行う行事について

各地区で行っている行事は、地域の学校として残していくことが必要だ。
ただし、来年度も、運動会的なものの学習発表会的なものではなく、地域や
保護者の交流がめあてであることを周知、徹底する。

ア こどもの日まつりについて

○ 期日は5月3日(日)、場所は、留学センターや地域との交流を深
める意味からも、これまでどおり旧高市小学校で行う。

イ ふるさと交流会について

○ 地域の方の了承をいただければ、下記のような運営の仕方を実施す
る。

○ 期日は、後日検討する。(10月か11月)場所は、旧玉谷小学校
を別の団体が利用するようになったため、駐車場の確保が難しい。ま
た、工事の危険もあるので、広田小学校を会場として行う。行事の名
称は、「ふるさと交流会」を継承する。その場合、学習発表会とタイ
アップさせて行うという方法も考えられる。

○ ○○地区は～担当、○○地区は～担当というように、地区ごとに役
割を割り振っていけば、地域の人も意気に感じて来てくれやすくなる
のではないか。

(2) 留学センターとの連携について

ア 留学センターの行事や活動に、地元児童も参加できるようにしてはどうか。この場合には、留学センターとの十分な協議が必要である。
また、そうなった場合には、保護者の責任で同伴し安全を確保する等の対応が必要である。

イ 留学センターの保護者と OB・OG の保護者、地元保護者が、温かく交流できる雰囲気づくりがあるとよい。

<学校から>

- (1) 情報交換は、留学センターと学校とで密に行っている。留学センターは家庭の役割を持つので、センター内で起きたことについては、基本的には指導員が指導を行っている。ただし、重大な案件等が起きたり、学校でも指導が必要であると思われることが起きたりしたときには、生徒指導主事や学級担任等が訪問して指導を行う場合もある
- (2) 学力向上のために、普段の生活の中では学習習慣を身に付けさせ、家庭学習にしっかり取り組ませてほしいと要望している。

学校評議員会（学校評価委員会）では、教育活動についての報告をした後、アンケート結果と P T A 役員会での意見（前述）を踏まえた来年度の方向性について以下の内容を説明した。

今年度の広田小学校の教育活動で、評価していただいた内容については、来年度も継続していくこと、学校行事等については、各地区で行ってきた行事は一部会場の変更はあるが、継続して実施する。ただし、現在の行事の内容や新たな行事については、来年度さらに授業時数が増加することを考慮し、定められた教育内容を児童に確実に定着させることを第一にして、運営方法や活動内容の見直しを図っていく。さらに、新たに提案された内容については、教育課程内で実施できる可能な範囲で取り入れていくことを報告し意見を求めた。

5 学校評議員、学校関係者からの意見

(1) 本年度の学校経営について

- こどもの日祭りやふるさと交流会は、学校が統合したのだからすべて広田小学校で行ってはどうかという意見があるがどうか。
 - ・玉谷地区の人は、会場はどちらでもよいと思っている。
 - ・来る人は来る、来ない人は来ないので、どこで行ってもよい。
 - ・それぞれの地域とそれぞれの地域の子どもたちをつなぐ手立てとして、

旧高市小、旧玉谷小で行う方がよい。評価も昨年度と比べ、3.3から3.7に上がっているのも、その地区で行う効果が上がっているのではないか。

- ・来年度は、旧玉谷小のグラウンドが駐車場として使えないので、広田小での実施となりそうだが、再来年は、また、旧玉谷小でしてほしい。
- ・大きなイベントではなくて、子どもがその地域に出向き、地域を知り、地域の人と温かく触れ合う機会を増やすとよい。
- ・統合したときから、それぞれの地域の絆づくりの場としてにぎやかになってよいという趣旨から始まった。玉谷、広田、高市それぞれの地区の垣根がなくなって、地域として盛り上がった上での広田小開催になるとよいが、今のままでは、なかなか盛り上がりにくく広田小開催のよさが出にくいのではないか。来年度のふるさと交流会は、駐車場が使えない、工事の危険があるなどの理由で、広田小開催が望ましいかもしれない。しかし、再来年度は、再び旧玉谷小で開催し、旧玉谷小校舎に創設されるデイサービスの人たちも招待して実施してはどうか。また、教育課程の授業時数を考慮しながら、大きな行事のときばかりでなく、地域に出向き、地域の中で学習したり地域の人と触れ合ったりする活動の場を積極的に設定していきたい。(学校)

- 子どものアンケートで、「自分でめあてを決め、進んで自主学習に取り組んでいる。」の項目の評価が低いという指摘があったが、2.8と「だいたいあてはまる」の3に近いので、達成できていないとは言えないのでは。評価の高い子は、自分でどんどんできるので、低い子を引き上げてほしい。

- プログラミング教育のための授業時数は増えるのか。

- ・問題解決のための見通しや思考の流れを大切にした教育で、各教科や教科外の学習の中に組み込んで実施するようになっている。従って、時間数が大幅に増えることはない。外国語の時数も増えてくるので、計画的に実施していきたい。(学校)

- 新学習指導要領で、教育がどう変わるのか。

- ・社会の変化などを見据えて、ほぼ10年ごとに改訂されてきた。今までの「生きる力」を育てることは変わらないが、アクティブ・ラーニングと言われる「主体的・対話的で深い学び」を目指して、何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかも重視して授業を改善していく。特に大きく

変わることは、教科書が新しくなることである。プログラミング教育などの新しい学習内容にも取り組まなければならないが、年間指導計画も作成しているので、来年度スムーズに教育課程が実施できる。（学校）

○ 学校と保護者は、どのように連絡をとっているのか。

- ・原則は、学校内の電話等を用いて連絡しているが、学校の電話は、1回線しか使えないので、急いで連絡をとらなければならないときには携帯からかける場合もある。また、メールは学校のパソコンから送っている。保護者同士はラインで連絡をとりあっているが、教員は参加していない。学校と保護者、保護者同士の信頼関係の上に成り立っているが、個人情報流出には充分注意を払っている。（学校）

（２） 来年度の学校経営について

本会において、多様なご意見をいただき本年度の本校の取組を概ね良好と評価していただいた。

従って、来年度は、本年度の活動を基本的に継続しながら、運営方法や活動内容の改善を図っていくことを確認した。

さらに、学校と保護者・地域住民と熟議し様々なご意見をいただきながら、学校運営を進めていく。また、地域で行う学校行事は、来年度も交流や触れ合いがねらいであることを周知徹底し、一緒になって運営できるようにしていく。

6 ボランティア組織づくりについて

今年度も、学校支援ボランティアに8名の方に登録していただいた。来年度も呼び掛けていくので、ご協力をお願いしたい。（学校）

7 来年度の学校評議員選任について

各地域で選任をお願いしたい。要綱では7名以内となっている。保護者代表としては、PTA会長さんをお願いする。玉谷、広田、高市地区からそれぞれ1名の方をお願いしたい。（学校）